

熊本地震 10年ショートムービー「10年 - NEW STARTING LINE -」

熊本地震 10年ショートムービー「10年 - NEW STARTING LINE -」を町公式 YouTube チャンネルで公開しました。

熊本地震から 10年。それは一つのゴールであり、新しいスタートライン。この思いを動画のタイトルに込めました。

舞台は、観測史上唯一二度の震度 7 を経験した益城町。メインキャスト 10 人を含む、総勢 200 人もの町民の皆さんと共に、一つの物語を作り上げました。

公開したのは『本編』と、制作の裏側や出演者の思いに迫ったドキュメンタリー『もう一つの物語「走り抜いた、あの日」』の 2 本です。

このムービーには、これまでご支援くださった全国の皆さまへの感謝と、震災の記憶を未来へつなげたいという願いを込めました。

ぜひ、ご覧ください。



本編



ドキュメンタリー

上映会を開催しました

このムービーの上映会を、熊本地震本震から 10 年となる 4 月 16 日に開催しました。

会場にはメインキャストをはじめ 200 人を超える人々が集まりました。

上映が始まると、会場は一体感に包まれました。自分の出演シーンに照れ笑いを浮かべる人、キャストの熱演に食い入るように見入る人。参加者一人一人が、それぞれの 10 年間に思いをさせ、静かに涙を浮かべていました。

上映後には、来場者全員でムービー公開を祝うカウントダウンを実施。

公開の瞬間、会場は温かい拍手と笑顔で満たされ、感動の瞬間をみんなで分かち合いました。



ごみ処理施設に関する計画の進捗状況をお知らせします

益城町をはじめ上益城郡 5 町では、現在使用しているごみ処理施設など(例: 益城クリーンセンター)の老朽化が進んでいます。このため、平成 27 年から共同で新たなごみ処理施設を整備する検討を進めてきました。

こうした中、令和 3 年には民間事業者から、家庭ごみに加えて産業廃棄物の処理も含む「新たな計画」が提案され、検討を行っています。

現在、この計画が環境に与える影響を事前に評価する手続き(環境アセスメント)が進められており、住民の皆さまから意見を伺う公聴会(県主催)が開かれる段階にあります。今後、令和 8 年度中ごろには環境影響評価書が公表され、この手続きが完了する見込みです。

上益城地域におけるエネルギー回収施設等設置事業

「新たな計画」とは、民間事業者が御船町上野にごみ処理施設を整備・運営するもので、上益城郡 5 町の一般廃棄物(家庭ごみなど)と、主に県内で発生する産業廃棄物を処理します。さらに、処理の過程で生まれる熱エネルギーやメタンガスを利用し、発電なども行う計画です。

これまでの経緯など、詳しくは町ホームページをご確認ください。



上益城障がい者基幹相談支援センターこかげが開所

障がい者やその家族、支援に携わる人々のための相談拠点として、「上益城障がい者基幹相談支援センターこかげ」が開所しました。

「こかげ」という愛称には、「夏の日^{まつもと}に木陰で涼むと心が安らぐように、困りごとや不安を抱えた人々が、誰もが気軽に立ち寄り、ほっと一息つける場所でありたい」という願いが込められています。

上益城障がい者基幹相談支援センターこかげ

場所 御船町豊秋 1557 番地

開所日 毎週月曜日から金曜日(祝日・年末年始を除く)

開所時間 午前 9 時～午後 5 時

☎ 上益城障がい者基幹相談支援センターこかげ ☎ 201 - 6517
福祉課 障がい支援係 ☎ 286 - 3115

今後の判断について

この計画が適切かどうかは、今後、5 町の町長で構成する会議で総合的に判断します。

その判断にあたっては、事業者が環境アセスメントを通じて検討した計画や、環境影響評価書の内容などを慎重に確認する予定です。

議会報告会について

本事業の検討状況や取り決め事項については、今後、定期的に各町それぞれの町議会へ報告し、その内容を広く皆様に公表していく予定です。益城町での第 1 回議会報告会は下記のとおりです。

上益城廃棄物処理施設整備事業に関する議会報告会(第 1 回)

日時 6 月 3 日(水) 午前 11 時～

場所 益城町役場 2 階 2-4・5・6 会議室

傍聴 益城町の住民に限る

☎ 住民課 環境衛生係 ☎ 289 - 8077

開所記念式が行われました

こかげの開所記念式が、4 月 6 日に開催されました。センターを運営する医療法人社団松本会・松本武士理事長は、「上益城郡は^{まつもと}とても広いですが、不安を抱えた人や、支援に携わる関係機関の皆さまを陰ながら支えていきたい」と意気込みを語りました。

